

## 在メダン日本国総領事館 海外安全対策情報（令和4年4月～6月）

### 1 治安情勢

#### (1) 一般犯罪

日本人が被害に遭った事件に関する情報はありませんでした。

北スマトラ州において、違法薬物の流通量が増加しており、薬物犯罪（使用、所持、密輸）が多発しています。また、薬物中毒者が薬物の購入資金を得るために行う窃盗事件（ひったくり、オートバイ盗、侵入盗）も頻発しています。

窃盗の被害品は、スマートフォン、アクセサリ、自転車、オートバイ等の転売可能なものが多いため、それらの携帯・管理には注意してください。

#### (2) テロ情勢

現在、具体的な脅威情報には接していませんが、引き続き、当地においてテロの標的とされている軍・警察関連施設及び宗教施設には、不必要に近寄らないようにするとともに、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど自らの安全確保に努める必要があります。

#### (3) デモ情報

5月20日、メダン市内において、インドネシア人の著名イスラム教説教師がシンガポール政府に入国を拒否された件に抗議するデモが行われました。

6月17日、メダン市内において、インド政府与党幹部が預言者ムハンマドとその妻を侮辱する発言を行った件に抗議するデモが行われました。

デモが発生した場合、参加者の一部が暴徒化する可能性もありますので、付近には近づかないようにしてください。

#### (4) 交通事故

日本人が被害に遭った事故に関する情報はありませんでした。

#### (5) 災害

5月17日、シナブン山は噴火活動が沈静化している状況が認められたことから、噴火警戒レベルが3から2に引き下げられました。

しかし、山頂付近には崩れやすい溶岩が堆積しており、土石流等の発生の危険性があることから、山頂の半径3キロメートルから4.5キロメートルには近づかないでください。

### 2 対日感情

全般的に良好な状況に変化は見られませんでした。

### 3 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報はありませんでした。